

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

当院における腎摘除・腎部分切除後の腎機能の悪化の予測因子の調査

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 泌尿器科 (研究責任者)堀 祐太郎

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

腎細胞癌は近年画像診断の進歩により、これまで発見されなかった無症状の段階で早期に多数発見されるようになった。以前は、出血のリスクなどから腎臓摘除術が施行されていた。技術の進歩に伴い、サイズの小さい腎癌には部分切除が腎機能温存の意味でも重要と考えられるようになった。実臨床では、部分切除の方が腎機能を温存出来ている傾向にあることは広く言われている。しかし、一部の患者には腎機能が悪化している人もいる事も事実である。現在の所、予後を予測する有効な指標はない。

この研究を通して、術後の早期の透析導入といった慢性腎不全への進行を予防・注意することで過剰な医療または、早期発見に役立たせる。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録、手術前後に撮影した CT 画像。切除した検体

<対象となる患者さん>

西暦 2004 年 1 月 1 日～西暦 2014 年 12 月 31 日の期間に当院泌尿器科で腎癌の治療を開始された方

<研究の方法>

腎癌術後の腎機能の変化を、①術前の検査、②切除検体の病理像③CT画像から予想できないかまたは傾向がないか後方視野的に調査することで予後因子を探る。

2004 年 1 月から 2014 年 12 月までの間に当院で（開腹、腹腔鏡下）腎切除、腎部分切除術を施行された方（約 250 例）を対象としています。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

泌尿器科 氏名:堀 祐太郎

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2513 (PHS)8399